

総合診療専門研修プログラム

(1) プログラムの理念、全体的な研修目標

3年間を通して、研修カリキュラムに定められた総合診療領域全般にわたる研修を行い、標準的かつ全人的な総合診療的医療の実践に必要な知識と技能とを修得する。研修終了後には、総合診療専門医試験の受験資格を得る。

プログラムは、地域や職務形態が異なる研修施設を内包する。各研修施設は地域が異なるうえ、院内での役割も異なる。そのため、専攻医はその地域の実情に合わせた医療を実践し、その病院において必要とされる知識・技量を新たに習得し、適応することを求められる。本研修を終えた医師は、様々な環境において、様々な働き方が出来る、高度な可塑性を持つ generality と医師としての professionalism を獲得することが期待される。

各研修病院はそれぞれの特色を持っている。各専攻医の希望に応じ、研修先の病院の選択が行われることとなる。

(2) 研修概要

総合診療 I、総合診療 II、内科、小児科、救急の研修が必修となる。

総合診療 I は小規模～中規模の医療施設、総合診療 II は中規模～大規模病院の総合内科 / 総合診療科での研修である。総合診療 I、II はそれぞれ 6 か月以上、合わせて 18 カ月以上の研修が必要である。

内科は 12 カ月、小児科、救急はそれぞれ 3 か月の研修が必要である。

専攻医は下記病院の中から各領域の研修を行う病院を選択することとなる。その際、出産や育児など、個人の事情に配慮しながら、指導医と相談の上で決定する。

(3) 研修施設

大阪大学医学部附属病院	(内科、総合診療 II、救急)
天理よろづ相談所病院 (奈良県)	(内科、総合診療 II、小児科、救急)
市立池田病院	(内科、総合診療 II、小児科、救急)
大阪急性期・総合医療センター	(内科、総合診療 II、小児科、救急)
りんくう総合医療センター	(内科、総合診療 II)
済生会千里病院	(内科、総合診療 II、小児科、救急)
八尾徳洲会総合病院	(内科、総合診療 I、救急)
本田診療所 (尼崎市)	(総合診療 I)
名瀬徳洲会病院 (鹿児島県奄美大島)	(総合診療 I)
徳之島徳洲会病院 (鹿児島県奄美諸島)	(総合診療 I)
市立伊丹病院	(内科)
やわらぎクリニック (奈良県)	(総合診療 I)
飯塚病院 (福岡県)	(内科、総合診療 II)
兵庫県立尼崎総合医療センター (兵庫県)	(内科、総合診療 II、小児科、救急)
大阪けいさつ警察病院	(総合診療 II)
藤田医科大学 岡崎医療センター (愛知県)	(内科、総合診療 II)
豊田地域医療センター (愛知県)	(総合診療 I、総合診療 II)
市立豊中病院	(内科、総合診療 II、小児科、救急)
日本生命病院	(内科、総合診療 II、救急)
神戸市立医療センター中央市民病院	(総合診療 II)
堺市立総合医療センター	(総合診療 II)
国立病院機構大阪医療センター	(総合診療 II)
阪和第二泉北病院	(総合診療 II)

(4) 研修パターン

研修形態は各研修医の希望に応じ、様々なパターンがあり得る。例を下記に示す。

①地域医療・高齢者医療重視型

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大阪大学医学部附属病院(内科)											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
天理よろづ相談所病院(総合診療Ⅱ9・小児科3)											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
名瀬徳洲会病院(総合診療Ⅰ)									八尾徳洲会病院(救急)		

②ホスピタリスト型(感染症・急性期診療重視)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大阪府急性期医療センター(内科)											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
大阪府急性期医療センター(救急3・小児科3)						八尾徳洲会病院(総合診療Ⅰ)					
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
八尾徳洲会病院(総合診療Ⅰ)						大阪大学医学部附属病院(総合診療Ⅱ)					

(5) 指導体制

定められた研修目標を達成できるよう、定期的に指導医による面接が行われ、研修手帳を用いて研修の進捗状況の確認が行われる。



問い合わせ先

■ 大阪大学医学部附属病院 総合診療科

担当者 郡山 弘

✉ koriyama@geriat.med.osaka-u.ac.jp

診療科ホームページ <http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/geriat/general/index.html>

